

## 社会福祉法人 恩賜財団済生会

## 水戸済生会総合病院治験審査委員会の記録（概要）

開催日時	平成 30 年 5 月 29 日 19:00 ~	開催場所	社会福祉法人 恩賜財団済生会 水戸済生会総合病院 第一会議室
出席委員名	宮永 直人、森 修一、大平 晃司、藤枝 裕郎、仁平 武、生澤 義輔、鈴木 美恵子、加倉井 寛寿、額賀 修一、稻葉 節生		
議 題	主な議論の概要	審議結果	
<継続の適否>  A PHASE 3 RANDOMIZED, DOUBLE-BLIND, ACTIVE-CONTROLLED, MULTICENTER STUDY OF THE LONG-TERM SAFETY AND EFFICACY OF SUBCUTANEOUS ADMINISTRATION OF TANEZUMAB IN SUBJECTS WITH OSTEOARTHRITIS OF THE HIP OR KNEE  膝関節または股関節の変形性関節症患者を対象とした Tanezumab の長期安全性および鎮痛効果を皮下投与により評価する第 3 相多施設共同無作為化二重盲検実験対照試験	新たに得られた安全性情報の資料に基づき、 引き続き治験を実施することの妥当性について審査した。	承認	
<継続の適否>  A PHASE 3, MULTICENTER, LONG-TERM OBSERVATIONAL STUDY OF SUBJECTS FROM TANEZUMAB STUDIES WHO UNDERGO A TOTAL KNEE, HIP OR SHOULDER REPLACEMENT  膝関節、股関節または肩関節の関節全置換術を実施した Tanezumab 試験の被験者を対象とした第 3 相多施設共同長期観察試験	新たに得られた安全性情報の資料に基づき、 引き続き治験を実施することの妥当性について審査した。	承認	
<継続の適否>  エンザルタミド製造販売後臨床試験	新たに得られた安全性情報の資料に基づき、 引き続き治験を実施することの妥当性について審査した。	承認	
<継続の適否>  田辺三菱製薬株式会社の依頼による変形性関節症患者を対象とした MT-5547 の第 II / III 相試験	新たに得られた安全性情報の資料並びに治験に関する変更申請資料（治験実施計画書変更等）に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審査した。	承認	